

## 問題発見と解決

秋学期 BC金曜 5, 6時限 (2単位)

対象：経営工学主専攻3年生

担当教員：

吉瀬章子 3F1003 電話853-5557 E-mail: [yoshise@sk.tsukuba.ac.jp](mailto:yoshise@sk.tsukuba.ac.jp)  
(世話人) Office hour: E-mailで連絡の上随時

有馬澄佳 3F1231 電話853-5558 E-mail: [arima@sk.tsukuba.ac.jp](mailto:arima@sk.tsukuba.ac.jp)  
Office hour: E-mailで連絡の上随時

教科書：実習内で随時配布する。

授業概要・教育目標：

経営工学専攻で学んだ基礎知識を用いて、自ら設定したテーマに対して、モデル化、ソリューションの導出、ソリューションの検討からなる一連のプロセスを経験し、ディスカッションとプレゼンテーションのトレーニングを行う。学外への視野を広げるため、社会で活躍する方々を招いての事例講義や他大学の学生による交流発表会も予定している。

成績評価：

- (1) 出欠 (2) 感想文の提出 (3) プレゼンテーション  
(4) 発表へのコメントの提出 (5) レポート (6) ウェブへの掲載作業

を総合して評価する。

1. 必修の実習であるので、すべてに出席することが原則であるが、止むを得ず欠席する場合は、後日医師の診断書や、企業説明会等へ出席したことを証明する書類や写真(日付入り)を提出すること。

2. 事例講義後、次の実習までに感想文を提出すること。なお、感想文は後日講師の方へのお礼として送付する。

3. 最終プレゼンテーションにおいて、各自が持つ3ポイントを分配する形の投票を行い、筑波大学の代表者を決める。

4. 選ばれた代表者は、3月に行われる、慶応大学、中央大学、筑波大学、東京工業大学、東京理科大学の各代表者による発表会「問題発見とモデル化 5大学交流発表会」で発表を行う。

備考：

詳細な日程はオリエンテーションで示すが、事例講義、他大学学生の発表日程等、講演者のご都合により変更される場合がある。

授業計画：	
11月10日	<b>5限：オリエンテーション</b> 世話人の決定
11月17日	<b>5大学交流授業</b> ：昨年度履修者によるビデオと発表（詳細は別紙参照）
12月1日	<b>5限：相談会（1班）</b> } 必ず資料を用意してください <b>6限：相談会（2班）</b> } 資料のない相談は受け付けません <b>1班の世話人は、12月8日までにメンバーの発表内容を取りまとめて、TAにUSBメモリで渡すこと</b>
12月8日	<b>5限、6限：中間プレゼンテーション（1班）</b> これまでの進捗状況と今後のスケジュールを5枚程度のスライドで用意すること <b>2班の世話人は、12月15日までにメンバーの発表内容を取りまとめて、TAにUSBメモリで渡すこと</b>
12月15日	<b>5限、6限：中間プレゼンテーション（2班）</b> これまでの進捗状況と今後のスケジュールを5枚程度のスライドで用意すること
12月22日	<b>大学院進学ガイダンス</b> <b>事例講義（別紙参照）</b> <b>12月25日までに感想文をmanabaに提出すること</b>
冬休み	<b>アンケート調査など、手間のかかる作業はこの期間に実施しましょう！</b> その努力が優秀作品につながります
1月11日 (木曜日)	<b>希望者による相談会</b>
1月19日	<b>事例講義事例講義（別紙参照）</b> <b>19日中に最終プレゼンテーションタイトルをTAに送付（電子メール）</b> <b>1班の世話人は、2月2日までにメンバーの発表内容を取りまとめて、TAにUSBメモリで渡すこと</b> <b>1月22日中に感想文をmanabaに提出すること</b>
1月26日	<b>最終プレゼンテーション1班</b> 無記名・各自3ポイント制による投票の実施 <b>2班の世話人は、2月9日までにメンバーの発表内容を取りまとめて、TAにUSBメモリで渡すこと</b>
2月2日	<b>最終プレゼンテーション2班</b> 無記名・各自3ポイント制による投票の実施 <b>終了後5日中にコメント票ファイルをTAに送付（電子メール）</b>
2月9日	<b>manabaにレポート提出×切</b>
3月16日	<b>5大学交流会 3月16日(金)午後</b> <b>@東海大学高輪キャンパス</b> <b>日本オペレーションズ・リサーチ学会春季発表会</b>